

エコアクション21
環境経営レポート

42期
(令和5年10月～令和6年9月)

令和6年12月2日
株式会社 西部技術コンサルタント

● 外観



● 社内(会議室)



目次

1. 組織の概要	1
2. 対象範囲	1
3. 環境方針	2
4. 実施体制及び全体組織図	3
5. 環境経営目標	4
6. 環境経営計画	5
7. 環境経営目標の実績	6
8. 環境経営の取組結果とその評価、次期の環境経営目標及び環境経営計画	7,8
9. 環境関連法規等遵守状況の確認及び評価結果、違反、訴訟等の有無	9
10. 代表者による全体評価と見直しの結果	9

1.組織の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

株式会社 西部技術コンサルタント
代表取締役 松尾 涼二

(2)所在地

本社 〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南 4丁目18番12号
八女営業所 〒834-0031 福岡県八女市本町416番地1アローフィールドA棟205号
佐賀営業所 〒840-2212 佐賀県佐賀市川副町犬井道752
熊本営業所 〒860-0047 熊本県熊本市西区春日1丁目14-23グリーンコーポ熊本A棟415号室

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

【管理責任者】	【担当者】
技術 篠原 善美	技術 江戸 加那子
TEL : 092-437-5711	技術 杉山 駿太
FAX : 092-437-5712	
E-mail (連絡先担当者) : edo@seibug.co.jp	

(4) 事業活動内容

建設コンサルタント
道路部門, 鋼構造及びコンクリート部門, 下水道部門, 河川、砂防及び海岸部門
都市計画及び地方計画部門, 上水道及び工業用水道部門, 農業土木部門
土質及び基礎部門, 地質部門、施工計画・施工設備及び積算部門、建設環境部門
測量

(5) 事業の規模(42期:R05/10~R06/9)

項目	売上高	従業員	床面積
単位	百万円	人	m ²
数量	545	32	400

2.対象範囲

(1) 対象組織 全組織

本社 〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南 4丁目18番12号
TEL : 092-437-5711, FAX : 092-437-5712
八女営業所 〒834-0031 福岡県八女市本町416番地1アローフィールドA棟205号
TEL : 0943-22-8652, FAX : 0943-22-8653
佐賀営業所 〒840-2212 佐賀県佐賀市川副町犬井道752
TEL : 0952-45-0626, FAX : 0952-45-0626
熊本営業所 〒860-0047 熊本県熊本市西区春日1丁目14-23グリーンコーポ熊本A棟415号室
TEL : 0968-57-8131, FAX : 0968-57-8132

(2) 対象活動 全活動(認証・登録範囲に含まれる全活動)

建設コンサルタント
道路部門, 鋼構造及びコンクリート部門, 下水道部門, 河川、砂防及び海岸部門
都市計画及び地方計画部門, 上水道及び工業用水道部門, 農業土木部門
土質及び基礎部門, 地質部門、施工計画・施工設備及び積算部門、建設環境部門
測量

3.環境方針

株式会社 西部技術コンサルタントは、地球環境の保全が最重要課題の一つであることを認識し、社会資本整備を担う土木設計事業を通じて、自然環境の保護に務め、環境に配慮した企業活動を目指します。

1. 環境経営システムを構築し、次の事項を重点的なテーマとして継続的に改善を推進します。

(1) 省エネルギー及び省資源を推進し、二酸化炭素の排出量を削減します。

(2) 廃棄物の減量化、再利用、リサイクルを促進し、廃棄物の排出量を減らします。

(3) 水道使用量の削減に取り組みます。

2. 当社に関わる環境関連法令および協定を遵守します。

3. 行政機関・団体などの環境保全施策に協力すると共に、地域社会における環境保全活動に積極的に参加し、社会貢献活動を推進します。

4. 環境に配慮した土木設計・計画立案業務を実施します。

5. この方針を全従業員に周知し、環境教育活動を推進します。

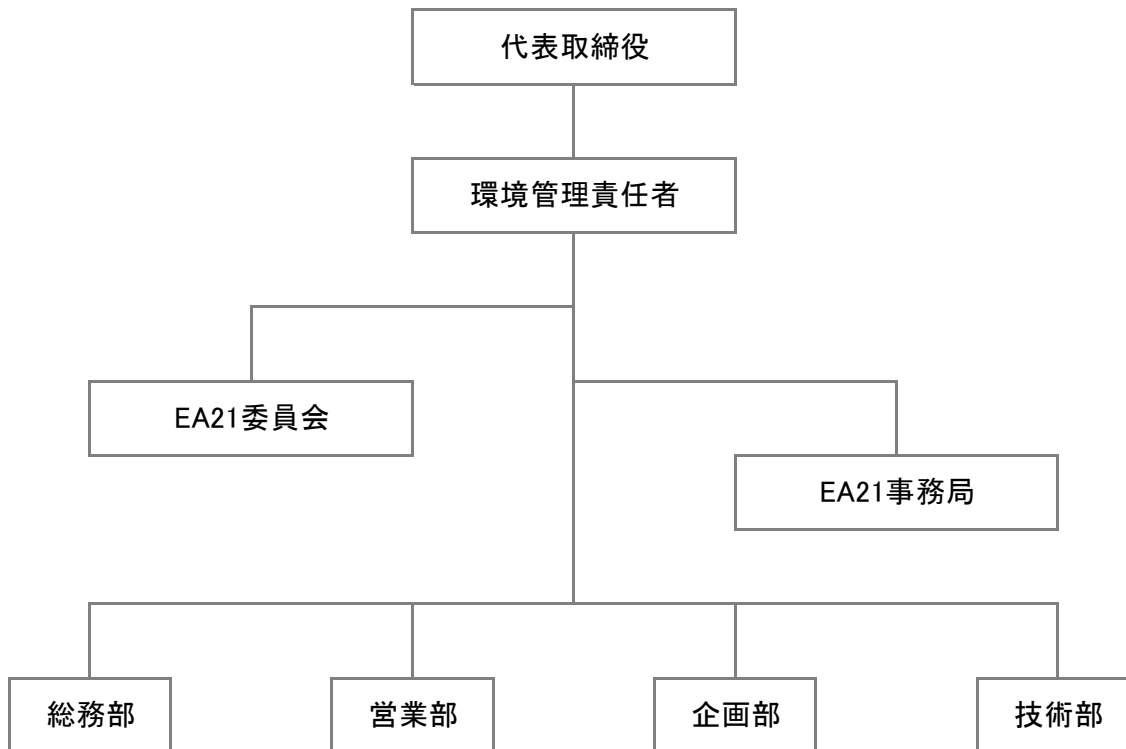
制定日 平成20年11月25日

改定日 令和元年10月 1日

株式会社 西部技術コンサルタント

代表取締役 松尾 涼二

4.実施体制及び全体組織図



・ 役割, 責任及び権限

属性	氏名	役割, 責任及び権限
代表取締役	松尾 涼二	全体統轄、環境方針の設定、環境への取組を実施するための資源の準備、全体の評価と見直し。 環境管理責任者の任命。
環境管理責任者	篠原 善美	環境経営システムの構築・運用、社長への状況報告。
EA21委員会		3ヶ月に1回EA21委員会の開催。 環境目標の達成状況及び環境活動計画の実行状況を審議。
EA21事務局		環境管理責任者を補佐。 EA21における文書及び記録類の作成・維持・管理の報告。
各部門長		環境管理責任者及びEA21事務局と各部門職員とのコミュニケーションの中継。 各部門職員の環境への取り組み管理及び評価。

5.環境経営目標

当社の環境経営目標は以下に示すとおり。

項目	単位	基準値 (前期の値)	単年度目標	中長期目標	
			42期	43期	44期
			今期目標	2年目目標	3年目目標
1 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	29,421	29,127	28,833	28,538
			(-1.0%)	(-2.0%)	(-3.0%)
1-1 電気使用量削減	kWh	35,528	35,173	34,817	34,462
			(-1.0%)	(-2.0%)	(-3.0%)
1-2 ガソリン使用量削減	ℓ	6,685	6,618	6,551	6,484
			(-1.0%)	(-2.0%)	(-3.0%)
1-3 LPG使用量削減	m ³	31	31	30	30
			(-1.0%)	(-2.0%)	(-3.0%)
2 廃棄物排出量削減	kg/月	81	80	79	79
			(-1.0%)	(-2.0%)	(-3.0%)
3 水使用量削減	m ³	147	146	144	143
			(-1.0%)	(-2.0%)	(-3.0%)
4 環境に配慮した設計の提案	% (実施業務/業務全体)	96	97.0	97.9	98.9
			(+1.0%)	(+2.0%)	(+3.0%)
5 地域社会における環境保全活動への参加推進	回/月	3	3	3	3

・当社は化学物質を使用していないため、環境目標項目から除外する

・電気使用による二酸化炭素の排出量は令和5年度の九州電力の調整後の排出係数0.389kg-CO2/kWhを使用。

6.環境経営計画

当社の環境経営計画は以下に示すとおり。

環境経営計画

項目	目標	取組内容	取組スケジュール	責任者
1	電力使用量 前年度に対し 1%削減	室温測定・適温維持 (夏:25°,冬:23°)	夏:6~9月 冬:12~3月	篠原
		休憩時間の消灯	通年	篠原
2	ガソリン使用量 前年度に対し 1%削減	エコドライブの実施	通年	篠原
		エコカーの購入	通年	篠原
3	LPG使用量 前年度に対し 1%削減	高効率給湯器へのシフト	設備交換時	篠原
4	廃棄物排出量 前年度に対し 1%削減	コピー用紙の裏紙使用 (両面コピーの推奨)	通年	篠原
		再生トナーの使用	通年	篠原
		分別,資源ゴミ収集への 協力	通年	篠原
		ゴミ排出量の計測	通年	篠原
5	水使用量 前年度に対し 1%削減	節水の周知徹底	通年	篠原
6	環境に配慮した 設計の提案 % (実施業務/業務全体)	設計業務における 環境配慮型設計の提案	通年	篠原
7	地域社会に おける 環境保全活動	3回/月 駐車場前公道の清掃	通年	篠原

7.環境経営目標の実績

当社はエコアクション21に基づく環境経営システムを構築し、平成20年12月より環境活動に取り組み、環境経営目標が一部達成出来ていない項目がある。

項目		単位	基準値 (前期の値)	今期の目標値	今期の値	達成率 (%)
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	29,421	29,127 (-1.0%)	30,082	96.8%
1-1	電気使用量削減	kWh	35,528	35,173 (-1.0%)	38,307	91.8%
1-2	ガソリン使用量削減	ℓ	6,685	6,618 (-1.0%)	6,500	101.8%
1-3	LPG使用量削減	m ³	31	31 (-1.0%)	33	93.1%
2	廃棄物排出量削減	kg/月	80	80 (-1.0%)	145	55.1%
3	水使用量削減	m ³	147	146 (-1.0%)	152	96.1%
4	環境に配慮した設計の提案	% (実施業務/業務全体)	100	100	100	100.0%
5	地域社会における環境保全活動への参加推進	回/月	3	3	3	100.0%

・当社は化学物質を使用していないため、環境目標項目から除外する

・計算式は、達成率(%)=今期の目標値/今期の値×100(上記4のみ削減量ではなく、提案した数なため、今期の値/今期の目標値×100となる。)

8. 環境経営の取組結果とその評価、次期の環境経営目標及び環境経営計画

・当期（42期）の取組結果とその評価、次期の環境経営計画（取組）は以下に示します。

(1) 二酸化炭素排出量削減（達成率96.7%）

1) 電気使用量削減（達成率91.8%）

<取組結果>

前期と比較して、今期は削減できていない月が大半であった。エアコンの使用等見直しを行い、今後も月目標値の達成に務める。

2) ガソリン使用量削減（達成率101.8%）

<取組結果>

使用量が大幅に増加している月が見られるものの、総合取組結果は削減出来ている。引き続き、ガソリン使用量の削減に務める。

3) 総括

ガソリン使用量に関しては、昨年同様削減ができています。しかし、電気使用量が増加しているため、見直す必要があると考える。

<次期の環境経営計画（取組）>

冷暖房の使用時期の見直しを行う。

(2) 廃棄物排出量の削減（達成率55.1%）

<取組結果>

年に2回行っている、業者による古紙回収が実施され、座席の移動等があったため、大幅に排出量が増加している。

引き続き廃棄物排出量の削減に努める。

<次期の環境経営計画（取組）>

- ・印刷物の削減。
- ・両面コピーの推奨。

(3) 水道使用量の削減（達成率96.1%）

＜取組結果＞

人員が増加により達成できていないと推測する。
引き続き節水に努める。

＜次期の環境経営計画（取組）＞

節水の周知を徹底する。

(4) 環境に配慮した設計の提案（達成率103.1%）

＜取組結果＞

目標を達成していた。

＜次期の環境経営計画（取組）＞

今期も引き続き行っていく。

(5) 地域社会における環境保全活動への参加

＜取組結果＞

本社周囲の清掃活動は目標通り行った。

・次期の環境経営目標及び環境経営計画

5. 環境経営目標の43期(2年目)目標、6. 環境経営計画のとおりとする。



エアコン掃除風景(2F)



エアコン掃除風景(1F)



室外機点検時①



室外機点検時②

9.環境関連法規等遵守状況の確認及び評価結果、違反、訴訟等の有無

- ・ 当社の事業活動に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
- ・ 関係機関等からの違反等の指摘、利害関係者からの訴訟も、過去3年間ありませんでした。

主な法規名	順守状況
廃棄物処理法	○
家電リサイクル法	○
消防法	○
フロン排出抑制法	○

10.代表者による全体評価と見直しの結果

1.全体評価

- ・ 全社員でエコアクション21に継続的に取り組み、環境意識の向上に努めた。
- ・ 業務の中に環境配慮設計を取り込んだ。
- ・ ガソリン代の節約による二酸化炭素排出量の削減に努めた。
- ・ LED電灯の導入による環境意識の向上、電気代の削減に努めた。

2.見直し

- ・ 環境方針は次期も継続するが、環境目標、環境活動計画については、次期はさらなるステップアップが出来るよう積極的な取組を行う。
- ・ 廃棄物排出量の削減、印刷物の削減に努める。
- ・ 今後も社員の環境意識を向上するための環境教育を実施するとともに、本業における環境配慮設計の取組を実施する。